



令和 8 年度 特別活動実践・研究計画

部 員 ○佐々木駿斗、石田智之、鎌田佳祐、山田幹、石井知徳、新山壮一郎

I 特別活動における 自律した学習者の姿

- 1 話合いの仕方を理解し、自律的に話合いを進め合意形成したり、課題の解決方法について多様な意見を活かして意思決定したりする姿
- 2 自分たちの思いや願いをもって議題を設定し、それを実現するために学級会を有効に活用する姿
- 3 自分たちの思いや願いを実現するために参会者を納得させる手立てについて考える姿

II 授業デザインの実践

- A 自分やグループの考えを整理・分析したり、みんなで考えを共有したりする場を設ける。
- B 合意形成や意思決定を支える、よさや改善点を見付ける活動を行う機会を設ける。
- C 自分たちの現状を把握し、話合いしたいことを募集し切実感のある議題や課題の選定を支援する。
- D アンケートの実施や資料の作成など、自分の主張に対する根拠をもてるよう支援する。

III 1・2 年次研究で生成した仮説

	問題解決に没頭する子どもの姿 (数字は、自律した学習者との関連)	要因・手立て (英字は、授業デザインの実践との関連)
一 年 次	相手意識をもって献立づくりに取り組み、相手が喜ぶような工夫を取り入れて献立をつくろうとした姿 (1、2)	6 年生が喜ぶような献立にできるように目的を共有する時間を設けたことや、自分たちが考えた献立が好きではない人たち、アレルギーをもった人たちにも喜んでもらえるような工夫ができないか考えるよう働きかけた。(A、B)
	相手意識のもとに、調査活動や提案の仕方・見せ方を考えることで自分たちの主張を強くした姿 (1、3)	I C T 機器を活用しながら、アンケートやインタビューの結果をプレゼンテーションにまとめ、自分たちの提案の根拠を明らかにしたり強化したりするよう働きかけた。(C、D)
二 年 次		

IV 1 年次研究の課題と、改善するための手立て

	課題となった子どもの姿 (数字は、自律した学習者との関連)	改善するための手立て (英字は、授業デザインの実践との関連)
一 年 次	子どもの思い、願いを基にした単元構成や対象への意識を明確化することで話合いの質が高まっていく姿が見られた。一方で、子どもに話合いを任せることで、話合いが停滞したり意見がまとまりきらなかったりする場面があった (1、2、3)	話合いを児童に委ねる部分と教師が適切に介入して助言するタイミング。また、児童が話合いの目的や意義について理解しているかを確認してから話合いに入る。(A、B)

令和8年度 特 別 活 動 全 体 計 画

秋田大学教育文化学部附属小学校

		【 目 標 ・ 指 導 の 方 針 ・ 時 数 】	【 内 容 】	【 組 織 ・ 時 間 ・ 担 当 等 】		
生徒指導 各教科 道徳	◎学級活動の内容との関連を図り、道徳的実践力を養う。 【低】「他の人とかかわり」 みんなのために働く。 ・学校の人々に親しんで学級生活を楽しくする。 【中】「集団とかかわり」 ・きまわりを守る。 ・人と協力し合う態度を身に付ける。 【高】「自分自身に関すること」 ・きまわりの意義を理解する。 ・相手の立場を理解して支え合う。 ・集団の一員として役割と責任を果たす。 ・人間としての自己の生き方についての考えを深める。	学級 学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、資質・能力を育成することを目指す。 【指導の方針】 ・学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践する。 1学年:34時間 2～6学年:35時間	【低】仲良く助け合い学級生活を楽しくするとともに、日常生活や学習に進んで取り組もうとする態度の育成に資する活動。 【中】協力し合って楽しい学級生活をつくるとともに、日常生活や学習に意欲的に取り組もうとする態度の育成に資する活動。 【高】信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるとともに、日常生活や学習に自主的に取り組もうとする態度の育成に資する活動。	(1)学級や学校における生活づくりへの参画 ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ 学級内の組織づくりや役割の自覚 ウ 学校における多様な集団の生活の向上 エ ②日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア 基本的な生活習慣の形成 イ よりよい人間関係の形成 ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現 ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解 ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用	・司会グループは輪番制を基本とし、学級の全児童で組織する。 ・学級担任教師が指導に当たる。 ・係活動や集会活動は、児童の発達段階を考慮し創意工夫する。 ・共通事項の内容を関連付けたり、統合したりして、精選する。 ・必要に応じて養護教諭、栄養教諭、司書教諭、地域の方などの協力を得て指導に当たる。	
	学校の教育目標 「自律」 のびのび きびきび わくわく 研究主題 自律した学習者が育つ授業 デザイン	* 目 標 *	児童 異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、資質・能力を育成することを目指す。 【指導の方針】 ・自治的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と互いのよさを生かして協働し、よりよい学校生活をつくらうとする態度を養う。 1～3学年:10時間 4学年:11時間 5学年:15時間 6学年:14時間	学校の全児童をもって組織する児童会において、学校生活の充実と向上を図る活動。 (1)児童会の組織づくりと児童会活動の計画と運営 (2)異年齢集団による交流 (3)学校行事への協力	○学校生活に関する諸問題について話し合い、解決を図るための活動 (代表委員会)3～6年 ○学校内の自分たちの仕事を分担・処理するための活動 (委員会活動)5、6年 ○わくわく活動 ・異年齢の交流をするための活動 ○はとの子運動会、はとの子学習発表会 児童委員会による協力	[代表委員会] ・3年生以上の各学級代表男女各1名、各委員会の委員長・企画委員会で組織する。必要に応じて、提案者、クラブ活動の部長、わくわく班のリーダーが参加。 ・学級代表委員は、5・6年生の任期を1年間とする。(通年制) ・3・4年生は前期、後期の2期制で選出する。 ・毎月第1水曜日の6校時にい、必要に応じて開く場合もある。
	○教育課題 ○教師の願い ○家庭の願い ○子どもの実態 ○地域との連携	特別 集団や社会の形成者としての「見方・考え方」を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質・能力を育成することを目指す。 研究・実践テーマと重点	児童 異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、資質・能力を育成することを目指す。 【指導の方針】 ・自治的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と互いのよさを生かして協働し、よりよい学校生活をつくらうとする態度を養う。 1～3学年:10時間 4学年:11時間 5学年:15時間 6学年:14時間	学年や学級の組織を離れ、第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、異年齢集団の交流を深め、共通の興味・関心を追求する活動。 (1)クラブの組織づくりとクラブ活動の計画と運営 (2)クラブを楽しむ活動 (3)クラブの成果の発表	○年度初めに、組織・計画について話し合い、決定する。 ○各学期の終わりに振り返りを行い、次の学期に生かす。 ○共通の興味・関心を児童相互の創意や工夫を生かしながら追求する。 ○全教職員で指導にあたることを基本とし、子どもたちの主体的な活動の支援にあたる。	[クラブ活動] ・手芸 ・外国語 ・まんが・イラスト ・卓球 ・工作 ・発明・科学 ・スポーツA(内) ・スポーツB(外) ・囲碁・将棋 ・茶道・生け花 ・はとの子アスリート ・パソコン ・折り紙 [年間の予定] 1学期:①5/11(45分) ② 6/11 ③7/16 2学期:④9/3(教育実習中) ⑤ 10/1 ⑥10/8(3年生クラブ見学) ⑦10/29 ⑧11/5(45分)
	総合的な学習の時間	◎特別活動との関連を図り、知の総合化につながる体験的学習を通じて、主体的によりよく解決する資質や能力を育てる。 ◎探究活動を通じて培った力を委員会活動やクラブ活動等の企画・運営に活用できるようにする。	クラブ 異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、個性の伸長を図りながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す 【指導の方針】 ・共通の興味・関心を追求する活動を楽しく豊かにするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりすることができるようにする。 4～6学年:10時間			
外国語活動 外国語	コミュニケーション能力の育成 ALTとの連携	学 校 全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、資質・能力を育成することを目指す。 【指導の方針】 学校行事を通して学校生活の充実を図り、人間関係をよりよく形成するための目標を設定したり課題を見だし、解決したり、大きな集団による集団活動や体験的な活動に協力して取り組むことができるようにする。 1学年:26時間 2学年:23時間 3学年:23時間 4学年:23.6時間 5学年:36時間 6学年:40.6時間	(1) 儀 式 的 行 事 (2) 文 化 的 行 事 (3) 健康安全・体育的行事 (4) 遠足・集団宿泊的行事 (5) 勤労生産・奉仕的行事	○学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動 ○平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするような活動 ○心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から実を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するような活動 ○自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるような活動 ○勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動	入学式 新任式 始業式 離任式 終業式 卒業式 修了式 はとの子学習発表会 芸術鑑賞教室 はとの子運動会 健康診断 避難訓練 防犯訓練 宿泊体験学習(5年) 修学旅行(函館方面6年) わくわく清掃	
その他の教育活動	・朝の会や帰りの会(生活指導、話し合い活動) ・当番活動(日直、給食、清掃、その他) ・長休み・昼休み ・地域との関連 ・教育相談					

令和 8 年度 特別活動年間スケジュール

月	学校行事	児 童 会 活 動			クラブ活動	学級活動	運営全体に関わって
		代表委員会	委員会活動	集会活動・異年齢集団活動他			
4	○1学期始業式 6 ○入学式 8 ○身体計測 7~13 ○PTA総会 24 ○第1回防犯訓練 30（全3回）	○児童会オリエンテーション（5・6年対象） ○児童会役員選出 10（公示→立候補→立会演説会 11→投開票→企画委員決定→3～6年は代表委員を決定） ○第1回代表委員会 22（児童会の合言葉について）	○委員会活動オリエンテーション（5・6年対象） ○設置する委員会について検討 ○設置する委員会の確定と担当者決定 ○各委員会の役職決定（5・6年） ○第1回委員会活動 13 各委員会ごとに年間・各学期のおおまかな活動計画の作成 ○常時活動 ○はとの子運動会への各委員会からの協力	○わくわく班名簿の作成 ○入学式準備（6年） ○手をつなごう仲間集会21（わくわく班ごとの集会、全校わくわく集会、わくわく清掃について）	○クラブ活動担当希望調査（職員対象）	○年間指導計画に基づいた学級活動の実施 ※週 1 時間、年間 35 時間を基本とする。 ※各学級の実態に応じて、弾力的に運営する。 ※発達段階に応じて、話合いの資質・能力表に基づいた話合い活動の指導を行う。 ※食育プロジェクトとの連携を図る。 ※キャリア教育との連携を図る。	○特別活動部経営案の作成 ○実践・研究計画案の作成・提案 ○特別活動全体計画の提案 ○代表委員会運営計画提案 ○委員会活動運営計画提案 ○児童会役員選出計画提案 ○児童会開き計画提案 ○わくわく活動運営計画提案 ○手をつなごう仲間集会計画提案 ○クラブ活動運営計画提案
5	○各種健康診断 13~6/11 ○第1回避難訓練 28 ○はとの子運動会 23	○第2回代表委員会 13（児童会の合言葉達成に向けた取り組みについて）（運動会について） ○児童会開き 14	○第2回委員会活動 18 ○常時活動	○わくわく清掃26~29	○第1回クラブ活動 11（計画立案）		
6	○5年自然体験学習 11~12 ○6年修学旅行 6/24~6/26	○第3回代表委員会 10	○第3回委員会活動 8 ○常時活動 ○第4回委員会活動 29		○第2回クラブ活動 13		○委員会活動評価計画案 ○わくわく給食計画提案
7	○引き渡し訓練 17 ○1学期終業式 24	○第4回代表委員会 15（1学期の振り返り）	○常時活動 ○1学期委員会活動評価	○わくわく給食 10	○第3回クラブ活動 16		○年間指導計画1学期分見直し
8	○2学期始業式 24 ○芸術鑑賞教室		○第5回委員会活動 31 ○常時活動				
9	○公開研究協議会 I 18 ○第2回防犯訓練 25	○第5回代表委員会 16（児童総会について）	○第6回委員会活動 6 ○常時活動		○第4回クラブ活動 7		○児童集会計画提案 ○わくわく班集会計画提案・準備 ○児童総会計画提案 ○わくわく班集会活動 ○クラブ活動評価計画提案
10	○陸上記録会（八橋）（6年） 15 ○第3回避難訓練 2	○児童総会 ○第6回代表委員会 28（はとの子発表会について）	○はとの子学習発表会への各委員会からの協力について	○プレ文化祭2	○第5回クラブ活動 5 ○第6回クラブ活動 19（3年生クラブ見学）		○わくわく清掃計画提案・準備
11	○東北附連研究集会 6～7	○第7回代表委員会 11（休み時間の過ごし方について）	○第7回委員会活動9 ○常時活動	○わくわく給食 6	○第7回クラブ活動 16 ○第8回クラブ活動 30（最終振り返り） ○クラブ活動評価		○わくわく給食計画提案
12	○2学期終業式 22	○第8回代表委員会 9（二学期の振り返り）	○第8回委員会活動 7 ○常時活動 ○2学期委員会活動評価		○クラブ活動運営計画検討		○年間指導計画2学期分見直し
1	○3学期始業式 12 ○第3回避難訓練 14 ○第3回防犯訓練 19	○第9回代表委員会 13（児童会の合言葉達成に向けた取り組みについて）	○第9回委員会活動 18 ○常時活動		○設置するクラブ活動についてアンケート		○ありがとう6年生集会計画提案
2			○第10回委員会活動 1	○ありがとう6年生集会のプレゼント作成（わくわく班）	○設置するクラブの決定 ○クラブ所属希望アンケート（新4～6年対象） ○児童のクラブ所属決定		○今年度の実践・研究の振り返り
3	○卒業式合同練習（ ） ○卒業式予行 10 ○同窓会入会式 10 ○卒業証書授与式 15 ○修了式 19	○第10回代表委員会 8（最終）（ありがとう6年生集会について）（1年間の振り返り、児童会の引き継ぎ 他）	○第11回委員会活動 1（最終）○常時活動 ○3学期委員会活動評価 ※年間を通して、適宜、委員会主催の集会を行う。	○ありがとう6年生集会（わくわく班ごとの集会） 5 ○卒業式準備（5年）			○年間指導計画3学期分見直し ○話合いの資質・能力表見直し ○次年度の特別活動経営案作成 ○次年度の実践・研究計画案作成